

[参考] 先月からの主要変更点

	8月月例	9月月例
基調判断	<p>景気は、<u>おおむね横ばいとなっている。株価やアメリカ経済の動向など、我が国の景気を巡る環境に変化の兆しがみられる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出はこのところ弱含みとなっている一方、生産は横ばいとなっている。</li> <li>・企業収益は緩やかな改善が続いており、設備投資は緩やかな持ち直しが続いている。</li> <li>・個人消費は、おおむね横ばいで推移している。</li> <li>・雇用情勢は、依然として厳しいものの、一部に持ち直しの動きがみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、アメリカ経済等の回復が持続すれば、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、今後の株価・長期金利や海外経済の動向には留意する必要がある。</p>	<p>景気は、<u>持ち直しに向けた動きがみられる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資は増加している。企業収益は改善が続いている。</li> <li>・輸出は持ち直しており、生産は横ばいとなっている。</li> <li>・個人消費は、おおむね横ばいで推移している。</li> <li>・雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、<u>企業部門が持ち直している中で、アメリカ経済等の回復に伴って、景気は持ち直すことが見込まれる。</u>一方、今後の株価・長期金利や海外経済などの動向には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。平成 16 年度予算編成については、<u>歳出、歳入両面及び質、量両面にわたる改革をさらに加速する。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。</p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>

各論

	8月月例	9月月例
設備投資	<u>緩やかな持ち直しが続いている。</u>	<u>増加している。</u>
輸出入	輸出は、 <u>このところ弱含んでいる。</u> 輸入は、 <u>緩やかに増加している。</u>	輸出は、 <u>持ち直している。</u> 輸入は、 <u>増加している。</u>
企業収益	<u>緩やかな改善が続いている。</u>	<u>改善が続いている。</u>
雇用	完全失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しいものの、 <u>一部に持ち直しの動きがみられる。</u>	完全失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しいものの、 <u>持ち直しの動きがみられる。</u>
国内企業物価	<u>弱含んでいる。</u>	<u>横ばいとなっている。</u>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。